

第5学年2組 社会科学習指導案

平成29年1月26日(木) 第2限 5年2組教室 教諭 永井美優妃

1 単元 自動車を作る工業

2 単元目標

- (1) 工業生産の様子に関心をもち、自動車をつくる工業の製造の過程や製品の輸送に見られる工夫などについて意欲的に調べようとする。(関心・意欲・態度)
- (2) 工場で見学したことをもとに、工夫している点を考えたり発表したりできる。(思考・判断・表現)
- (3) 工場の様子を見学した時のメモ、地図、グラフなどの資料から、工業生産に従事している人が、製造の過程や製品の輸送などにおいて工夫や努力していることを読み取ることができる。(技能)
- (4) 工業生産に従事している人々が、消費者や社会の多様なニーズに応え、環境に配慮しながら、優れた製品を生産するために様々な努力をしていることを理解することができる。(知識・理解)

3 構 想

児童観

児童は「グラフを読み取ったり、調べたりすることは好きか」という質問に、8割が好きと答えた。「暮らしを支える食料生産」の単元では、食品の産地を調べ白地図にまとめることで、食品によって産地が分布していることや、それぞれの食品にあった土地利用がなされていることを実感した。

その一方で、グラフの数値や変化を読み取っても、そこから考えられることを発表できる児童は少ない。また、これまでは食料生産など生活に身近な学習が多かったが、自動車をつくる工業となると興味や関心がない児童も少なからずいるだろう。

そこで、複数の工場見学に行き、作業の工程や部品を実際に見ることで自動車に対する関心を高める。工場の様子を話し合うことで、多くの情報を収集・整理し、工場で働く人々の工夫やよりよい製品を作ろうとする思いに気付かせていきたい。

単元観

本単元は、「わたしたちの生活と工業製品」という大単元の中の第2小単元である。

ここでは、日本を代表する自動車工業を取り上げ、そこに従事する人々の生産に対する工夫や努力、貿易や運輸などに支えられて車が生産されていること、環境や人にやさしい車をつくるために、技術の研究や開発が重ねられていることを学習する。

2学期に自動車関連工場(浅井製作所、フタバ産業)とトヨタ自動車の組み立て工場を見学に行き、実際に間近で部品が作られる様子を見た。工場の人々が働く姿から、部品が大量生産されていることなどを感じ取ることができた。

本単元では、普段見ることのできない車の内部の部品にも人の手が加わっており、工夫や努力が詰まっていることを学んでほしい。工業が盛んな地域に住む子供たちに、そうした仕事に携わっている人々に目を向けられるようになってほしいと願う。

指導観

手だてⅠ 自動車の関連工場や組み立て工場を見学し、そこで働く人々の様子を実際に見て記録することで、自動車の生産について関心を高められるようにする。

手だてⅡ 一台の車ができるまでの過程や他工場との関連を分かりやすく整理するため、絵・写真・図などで示し、それらに子供たちから出た意見を書き込んでおく。

4 単元計画<全11時間 本時：8時間目>

学習課題	学習内容	時間	備考
① 自動車はどのような地域で作られているのだろう。	○グラフや地図を見て、日本の乗用車の生産台数の変化や主な生産地について気付いた事を話し合う。	1	・デジタル教科書
② なぜ日本の自動車が世界で売れているのだろう。	○日本の自動車が世界で売れている理由を考え、学習計画を立てる。	1	・デジタル教科書
③ 組み立て工場(トヨタ自動車工場)の人々はどのような工夫をしているだろう。	○自動車の生産工程の中での、工夫や努力を話し合う。	2 (見学1)	・写真資料 ・パンフレット ・デジタル教科書
④ 見学した工場の様子をまとめよう。	○浅井製作所とフタバ産業の工場の従業員数や扱っている部品の種類などをまとめる。	3 (見学2)	・写真資料 ・スライド資料
⑤ 2つの工場では、どのような工夫をしているだろうか。	○自動車の部品製造過程での、工夫や努力を話し合う。	1 本時 8/11	・写真資料
⑥ 完成した自動車はどのようにお客さんへ届けられるのだろうか。	○完成した自動車がどのように消費者の元へ届けられるか調べ、話し合う。	1	・デジタル教科書 ・パンフレット
⑦ 人と環境に優しい車づくりには、どんな工夫が大切なのだろう。	○人と環境に優しい自動車作りについて調べ、話し合う。	1	・デジタル教科書 ・パンフレット
⑧ これまでの学習を振り返り、未来の自動車を考える。	○自動車づくりに携わる人たちの思いをキャッチコピーにまとめる。	1	

5 本時の学習

(5) 板書計画

(1) 本時の目標

- ① 見学した資料をもとに、自動車関連工場で働く人々の工夫を発表しようとする。
(関心・意欲・態度)
- ② 自動車関連工場で働く人々は、より良い品を早くつくるために工夫や努力をしていることを理解することができる。
(知識・理解)

(2) 手だて

- 手だて① 発表のために資料を手元に置いたり、図や写真を掲示しておいたりする。
- 手だて② まとめにつなげるために、子供たちから出た意見を意図的に分類して板書しておく。

(3) 展 開

時	学 習 活 動	教師の支援	備考
1	1 前時のふりかえりをする。	・組み立て工場での、アンドンなどの工夫や指示通りに仕上げる努力などを確認する。	手立て①
3	2 本時の学習課題を確認する。	・課題を板書する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 関連工場で働く人々は、どのような工夫や努力をしているだろう。 </div>			
20	3 2つの工場を見学して見つけた工夫を発表する。	・子どもたちの発表に合わせ、関連する写真を貼ったり短冊をはりつけたりする。	手立て① 手立て②
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【浅井製作所】〈第2次関連工場〉 ・樹脂の部品製造では、いらな部分をもう一度溶かして再利用していた ・1箱に決まった数の部品が入れられて、見本もあった。 ・溶接では、分厚い手袋をしていた。 ・両手でボタンを押してプレスしていた。 ・手袋、耳栓、専用のくつで作業していた。 ・破壊テストを行っていた。 ・ロボットプレスでは、機械が自動で部品を作っていた。 ・その日に何を作るかは決まっている。 ・機械にチェックシートがあった。 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【フタバ産業】〈第1次関連工場〉 ・大きい機械でプレス、溶接をしていた。人は見守るだけ。 ・製品が大きく重いために、組み立て工場の近くで製品を作っている。 ・金型を修理したり、チェックしたりする部署がある。 ・ロボットが物を運んだり、溶接したりしていた。(以前は人) ・溶接で煙が出るところではマスクをしていた。(メガネ、帽子も) ・できた製品は人が並べている。 ・チェックシートや確かめる型がある。 </div>	
6	4 工夫の名前をつける。 ・「大量生産」「安全」「品質向上」	・発表を意図的に分類して板書し、子どもたちから出た意見をもとに工夫の名前を付ける。	手立て②
6	5 関連工場で働く人々のインタビュー映像を見ることでどんな思いで仕事をしているか確認する。	・関連工場で働く人々の思いを考えながらどんな工夫や努力をしているのかを聞き取るよう助言する。	映像資料
6	6 本時のまとめをする。 ・品質の良い製品を作るため ・上位の工場へ遅れないように速く大量に生産するため	・だれのための、何の工夫や努力かをまとめ、板書する。	
3	7 本時の学習を振り返る。	・関連工場の人々の工夫や努力に着目した感想を書けている子を指名する。	

(4) 評価

- ① 関連工場で働く人々の工夫や努力を見つけ、発表がすることができたか。
(活動3の発言より)
- ② 車の生産には組み立て工場だけでなく、関連工場の人々も工夫や努力をしていることが分かったか。
(活動4、5、6、7の発言ノートより)